

会 議 議 事 録

		記 録 者	主幹 染谷 優一		
供 覧	部長	課長	補佐	係長	課員
件 名	平成28年度第3回龍ヶ崎市総合教育会議				
日 時	平成28年10月26日（水） 午後1時30分から午後2時50分				
場 所	市役所5階 第1委員会室				
主 催	中山一生市長（事務局：企画課地域戦略グループ）				
出席者	中山市長，平塚教育長，斎藤平塚教育長職務代理者，高橋委員，大野委員，鈴木委員 川村副市長，松尾総合政策部長，宮川企画課長，大貫課長補佐，記録者，荒井教育部長，足立教育総務課長，重田教育総務課長補佐，岡野係長，近野係長，黒田生涯学習課長，小貫指導課長，北澤スポーツ推進課長，大和田給食センター所長，辻井教育センター所長				
欠席者	なし				
傍 聴	2人				
議 題	1 開 会 2 市長あいさつ 3 議 題 （1）龍ヶ崎市教育振興基本計画（素案）について （2）龍ヶ崎市の新しい学校づくり審議会について 4 その他 5 閉 会				
情報公開	<input checked="" type="radio"/> 公 開 <input type="radio"/> 部分公開 <input type="radio"/> 非 公 開	非公開（一部公開を含む）とする理由 公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）		（龍ヶ崎市情報公開条例9条 号 該当） 年 月 日	

事務局	<p>平成28年度第3回龍ヶ崎市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>なお、当会議におきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項に原則公開と明記されておりますので、公開で行いたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは開会に当たりまして、中山市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
中山市長	<p>皆さん改めましてこんにちは。本日は、総合教育会議の開催に当たりまして、教育委員の皆様方におかれましては、それぞれお忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>また、日ごろから、様々な場面で現場などを含めて、足を運びくださっておりますことに感謝申し上げます。高橋委員におかれましては、昨日の都市計画審議会への出席ありがとうございました。そういうことで、色々骨折りいただいておりますことに、この場をお借りいたしまして、感謝を申し上げます。</p> <p>さて、直近の龍ヶ崎市政の主な動向について、お話をさせていただきます。市の最上位計画であります（仮称）第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（案）について、9月25日から10月24日までパブリックコメントを実施した所でございます。パブリックコメントにおいては、1団体から5件のご意見をいただいた所です。現在いただいたご意見を踏まえて、市の考えなどを作成している所です。今後、12月の市議会定例会に最上位計画を上程し、議決を得ることで正式な決定となりますので、その際には、教育委員の皆様にもお示しをさせていただきますので、ご覧いただければと思います。</p> <p>また、最上位計画においては、教育を五つの戦略の一つに位置付けております。戦略2の「教育環境の向上 まちづくりを担う人づくり」として掲げており、龍ヶ崎市の子どもたちのさらなる教育環境の向上を図って参りたいと考えております。これについても、教育プランなどとの整合性も合わせながら、進めている所でございますので、また、いろいろな面でご意見ご指導などをいただければと思います。</p> <p>また、最近の教育行政についてですが、皆さんご承知のとおり、文部科学省において次期学習指導要領の改定作業が行われている所です。こちらについても、次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめとして、9月9日から10月7日までパブリックコメントが実施されたとのことです。今後、正式に次期学習指導要領が示されると思っておりますが、これからはアクティブラーニングへの転換や、英語の授業が小学校3年生から実施されたり、5年生からは、教科として扱われることとなります。さらに、道徳の授業も教科化されるなど、小中学校の授業内容が大きく変わることが考えられる所であります。</p> <p>さて、本日の議題の次第にありますように、二つの案件を設けております。</p> <p>一つ目は、龍ヶ崎市教育振興基本計画（素案）についてです。こちらは、前回の総合教育会議で、教育振興基本計画（素案）たたき台をお示しをさせていただき、その時にいただいた意見などを踏まえ、具体的な取組内容などを記載し、素案として取りまとめた所でございます。先ほどの次期学習指導要領の改訂など、今後の教育を取り巻く環境の変化を踏まえ、龍ヶ崎市の子どもたちのよりよい教育環境の充実を図って参りたいと考えておりますので、教育委員の皆様には、忌憚ないご意見ご質問などをいただきたいと考えております。</p> <p>二つ目でございますが、龍ヶ崎市の新しい学校づくり審議会についてでございます。こちらは、9月5日に第2回目の審議会が開催されたことに伴い、その時の主な意見などをご報告させていただき、少子化が深刻化する中での龍ヶ崎の教育のあり方を考えていく中で、小中一貫校をはじめとして、様々な課題についての共有を深めて参りたいと考えております。</p> <p>いずれの議題についても、各担当から説明させますので、教育委員の皆様方</p>

	<p>から忌憚のない御意見，御質問などをいただきたいと考えております。</p> <p>最後になりますが，龍ヶ崎市の子どもたちの教育の未来を照らすようなそんな総合教育会議になりますことを心から願って，挨拶の締めとさせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは早速，議事に入りたいと思います。議事進行につきましては，中山市長お願いいたします。</p>
中山市長	<p>それでは，着座のままで進行をさせていただきます。皆様の慎重審議の上での御協力をよろしく願いいたします。本日の議題であります，先ほど申し上げました二つの案件について，委員の皆様は御意見，御協議をいただきたいと考えております。</p> <p>また，本日の会議時間についてですが，午後3時に終了を予定しておりますので，委員の皆様方におかれましては，円滑な議事進行につきまして重ねて，御協力お願い申し上げます。</p> <p>それでは，議題1の龍ヶ崎市教育振興基本計画（素案）について担当から説明をお願いいたします。</p>
教育総務課	<p>（資料に基づき説明）</p>
中山市長	<p>議題1の龍ヶ崎市教育振興基本計画（素案）について，資料の説明がございましたが，この件について，御意見，御質問等お願いいたします。</p>
高橋委員	<p>御説明ありがとうございます。大分，見やすくなった印象ですし，前回までの話が反映されてるのは分かるのですが，少し気になる所をつけ加えさせていただきます。前回の会議で専門用語など，普通の方ではよく分からないような文言には注釈をつけるという話がありまして，いくつか付いてるんですけど，44ページのICT教育や，46ページのシティズンシップ教育が抜けている感じがいたしますので，そこをつけ加えていただけるといいのかなと思いました。</p> <p>また，40ページの本に実がなっている絵は，とても可愛らしくというか，分かりやすくて，次のページへの目次代わりでいいと思うのですが，欲を言いましたら，せっかくこの実がついているのであれば，右側の絵と左側の絵と実の数を揃えていただければと思います。</p> <p>また，この冊子を最初から全部読もうという人が，いないこともあると思います。自分の興味のある所にずっと飛べるように，例えば「基本方針2の4，子どもたちの交流を促進します」という所は，66ページです，みたいな形で，そこに目次がわりでページを入れていただければ，さらにこのページが，使いやすいものになるかなと思いました。</p> <p>あと，67ページのコミュニティセンターでの子ども対象の開催数，9講座というのは，全コミュニティセンターの数なのか，コミュニティセンターの平均値なのか少し分かりにくいので，そちらを教えていただければと思います。</p>
教育総務課	<p>注釈の方につきましては，全部入りきれてないのが正直な所なので，次回の総合教育会議までに注釈を入れていきたいと考えております。</p> <p>また，41ページの所についても，見やすさという点でページ番号などもさらに振りたいと思います。あと67ページのコミュニティセンターとの実績は，全部のコミュニティセンターの数字がここに記載している所であります。</p>
中山市長	<p>はい，ほかにいかがでしょうか。</p>

鈴木委員	<p>非常に見やすく、カラフルで読みやすくなっていて、ありがとうございます。まず2点のうち1点目は御質問と2点目については、今さらなんですが、追加をお願いしたい点があります。</p> <p>1点目は、まず88ページのPDCAサイクルの件ですが、これは事業を展開していく上で、非常に有効と思うのですが、ただ見直しの点で、ここで、5年計画、5年後の状態ということを示しているの、この5年後の目標自体も変更見直しということが視野に入っているのかどうか、あるいはこの軸のまま、あくまでこの軸はここを変えずに、その事業の内容を変えていくのかということについて、どのへんを見直し変更という視点を構想されているのかという所をまず一つとして質問です。</p> <p>2点目ですが、もう少し早く私も気づけばよかったのですが、例えば、58ページあたりに該当するのかもしれませんが、「学びを支える教育環境を整備します」という所で、昨今、問題になっております教職員の過重労働といいますが、ブラック化等とも言われておりますが、できれば先生方の健康状態も環境整備の中で配慮いただければと思っております。</p>
教育総務課	<p>まず、88ページの進行管理の中に当たっての考え方であります。</p> <p>基本的に教育大綱の基本理念に向けた取組を進めていくということで、大きな目標は変わらずに、個々具体的な内容につきましては、毎年進行管理していく中で、改善を行っていったりとか、場合によってはここに記載してない新たな新規のものも、この5年の中で入ってくることもあるかと想定している所であります。</p> <p>また、先ほどの教職員の内容につきましては、こちらの具体的施策の6に明記するかどうかについても再度検討したいと思います。</p>
平塚教育長	<p>57ページを読んでいて違和感があったのは、目指す数値目標の⑤、教育委員会がこのアンケートの項目を出すと何か消極的なようなイメージがあるのかなと感じております。例えば、仲間外れや無視したり、陰で悪口を言っていると答えた数が38%から35%への目標ということは、35%は仕方がないだろうというような解釈を教育委員会とか市がしているのかなという印象を受けます。この学校生活に関する調査が非常にたくさんの項目があって、どうしてもこういう高い数値が出てしまうのですが、何か一般市民の方からすれば、この数値が本当にこれは妥当な数字なのかどうか、結果としては正確なのでしょうけど外に出す数字としては、何か違和感がある感じがします。これについて、担当は教育センターでよろしいでしょうか。ちょっと御意見などを聞かせてもらえればと思います。</p>
教育センター	<p>この調査項目については、15年ぐらい継続している調査です。実際ここが上がっている数字が結果としての数字です。確かに御指摘のように、例えば仲間外れにしたり、無視したりという所で今が38.3%、それが35%という数値目標では、残りはどうなんだというお話なのですが、確かに、そういうこの指標の別なサイドでの子どもたちのことはどういうふうに考えているんだという御指摘は確かにあります。ですので、ほかの項目でもあるのですが、検討していきたいと思っております。ここにある数字は正直な数字なのですが、確かに表に出たときにどのような反応となるかが懸念される所ではあると思っております。</p>
中山市長	<p>いかがですか。</p>

平塚教育長	<p>はい、この目標値については、65%はいじめの経験はないけど、35%もそういった回答する子どもがいて、本当にいいのだろうかという考えられることが危惧されます。場合によっては、別の調査や別な表現だとか、これは実態ですが、あまりにも我々の手だてというか、それをなくすための手だてをこれからやるわりには高い数値がまだ残っているのかなと思います。これについては、もっと本当に減らすということは可能かどうか、そのへんの努力をこの5年間でやっていくことが大事なのかなという感想を持ちました。</p>
教育センター	<p>いじめの認知に関しては、平成27年度に文部科学省から、認知の仕方について、もう1回見直しをして欲しいと、国から県、県から市町村へ通知がきました。国の方で言われているのは、いじめがあるのは当たり前、数値が多い少ないがいい悪いという判断はしない。多いならば多いで先生方がよく見ていると国の方も判断すると言っているのですが、実際、なかなかそういう考え方も、すべての市民の方々に浸透しているわけではないという所が現状です。先生方での意識の共有はある程度できてはいるのですが、やはりそうすると数字が独り歩きしてしまうともありますので、今、教育長おっしゃったようなことで、別な表現であるとか指標などを使うのが妥当かなと感じております。</p>
平塚教育長	<p>同じような調査で、55ページについてです。前回は不登校率が問題になったのですが、結果的には、いつの時代でも不登校の子どもがゼロという状況、は理想かもしれません。これだけの社会・組織・地域の中で見ると、どうしてもそういう子が生まれてしまうと思います。問題は、その先のアクションが大事であって、それをどうするかということだと思います。当然出てくるのは、不登校の解消率という別な視点で、こういう数値目標が出てくると、また何か積極的に解決に向けた取組というのが感じとれるのではないかなというように考えますので、今後また検討していきたいと考えております。</p>
大野委員	<p>今の指標についてですが、39ページの基本方針の成果指標について、まず大体、5年後に、5、6ポイントアップしているかと思うのですが、スポーツの推進に至っては、プラス15ポイント、22ポイント的にかなり推進しようという意気込みが感じられます。そういった根拠的なものが、ほかに比べて、どうなのかなということをお聞きしたいのと、それに対して、83ページにある具体的施策の中で、「目指します！数値目標（成果指標）」の中で、やっぱり推進ポイントの方で2番、3番あたりも、10ポイント15ポイントと増えてるのですが、こういった全体的にスポーツに関して、ほかの分野よりも、推進率が高いかなという所をお聞きしたいと思います。</p>
スポーツ推進課	<p>スポーツに関しましては、今年度に市民意識調査を行うのですが、これまでの意識調査の中では、週1回以上運動やスポーツを実施する割合というアンケートに対して、軽い散歩などは含まないようなアンケートのとり方だったのですが、今度、そういう所も見直しまして、散歩などの軽い運動も含むというようなことで聞くように変更していることから、かなり高い回答が得られるのではないかなということ考えております。</p>
大野委員	<p>軽く体を動かす程度もスポーツというようなアンケートとして、指標に入れるということでも分かりました。</p>
斎藤教育長 職務代理者	<p>全体を読ましてもらって、非常に分かりやすく整理されてることは分かったのですが、読んでて少しどうなのかなと思った部分がありまして、疑問的な部</p>

	<p>分として質問させてもらいます。</p> <p>一つは「現状は？（現状認識）」を読んでいくと、それぞれ書かれている、この順序性というのは、どうなのかなというものが少し疑問に思いました。施策を講じていて、課題が出ているものと施策がさほど明確でないのに、課題として一般的な課題になっているものという区別ができるのです。そのへんは、どのように整理されているのでしょうか。あくまでも施策を中心に考えているのかなと思いましたので、その点を聞かせてください。</p> <p>次に、43ページの取組の順序がこれでいいのかなと思いました。例えば、外国語活動・外国語教育の充実が①になっています。これはどうなのかなと思いついて、そちらを主にして行くことなのか、それともこれはあくまで羅列と考えるのか、そこが少し私としては、分かりにくかったです。例えば、少人数指導とか、小中一貫教育というのは、先にあるべきなのではないかなと解釈した部分があります。</p> <p>あとは、54ページの「現状は？」の所ですが、二つ目に「特別支援教育を推進するためには、指導者の育成と保護者の理解が大切です」とここで言い切っています。ほかにも「大切です」という表現の仕方があります。ほかの文章は「何々しています」という表現で言い切っていたので、読みにくい感じがしました。</p> <p>あとは、もう少し具体性があってもいいのかなという文面もいくつか感じました。例えば57ページを見てもらうと、「いじめ防止対策の強化」ということで、その後半に「龍ヶ崎市いじめ問題対策連絡協議会」及び「いじめ問題専門委員会」などを定期的で開催し、この会議の中でいじめ対策の協議や審議を行いますというのは、当たり前のような気がします。それなら、もっとポイントを入れた方がいいのではないかと思います。入りきれぬかどうか分かりませんが、こういう視点で協議していきます、審議していきます、と言った方がいいのではないかと思います。連絡協議会では、そこまで協議するのが当たり前というような気がするのです、もう少し具体性があってもいいのかなと思いました。</p>
教育総務課	<p>まず、43ページからの具体的施策の内容、番号の順序付の考え方です。</p> <p>基本的に重要と思われるものを番号の最初の方に持っていこうという考えではあります。その主なものとして、今現在、パブリックコメントが終わったばかりの市の最上位計画、そちらに記載されているものを、①、②、③というふうに位置付けたいと考えている所でもあります。一方、43ページの番号につきましては、数が多いという所と、あと45ページの成果指標との見やすさ、整合性も少し意識した所でもあります。具体的には、①の外国語活動は45ページの指標の上二つのものが直接関連してくる所ではありますが、②からという所が45ページの表で、国語、算数、数学、理科の勉強ということで英語、外国活動が入っていないという所であるのですが、こういった所で、主に直接関連するものと思われるものを一番左の帯の所に②、③、④、⑤、⑥、⑦という形の方で通し番号で入れた所もあります。そういった所で、その順序等は成果指標との見やすさも少しイメージして順番付けしたのが今回の資料であります。</p> <p>あとは、「何々が大切です」と言い切っている表現につきましては、再度考えてみたいと思います。</p> <p>また、先ほどいじめに関する所を具体的にもっと踏み込んで書いていいのではないかということについても、再度検討させていただきたいと思います。</p>
中山市長	<p>よろしいでしょうか。皆さんから御意見をいただきましたが、ほかにあればお願いいたします。</p>

高橋委員	<p>もう一つ、違和感ということで気になっていたのですが、54ページの不登校の取扱いなのですが、確かに不登校の数字は低い方が良く、残念なことなのですが、実際今、不登校の方から見れば、何かこのページの全体の印象だと、自分たちとかお子さんが悪いみたいな感じを与えると、大変申し訳ないなと思ひまして、確かに解消とか具体的な支援を行っていると書いてある中身が不登校の解消の支援もやっけていらっしてやうでしょうし、その方が社会とつながりをもって生活をしていく支援もやっけていらっしてやうと思うんですけど、不登校が解消できなくてもその方の支援というか、今後の生活にかかわっているというやうな項目があると、印象が違ふかなと思ひましたので、いい表現がありましたら、追加していただければと思ひます。</p>
教育センター	<p>はい、確かに国の方でも、これまでのヒアリングの中で、不登校だった方々にも話を聞いたりしている報告など読んだことがあるのですが、不登校イコール悪いというのではなく、自分にとってはプラスの時期だったと話をしている方も少なからずいるということは聞いていますので、そういう視点で、この後の生活のための充電じゃないですけど、そういう意味での支援も行っていますと、いうことも少し付け加えるか検討していきたいと思ひます。</p>
鈴木委員	<p>85ページの「③スポーツ推進」について、その下の文章を見ると、「市民一人ひとりがスポーツを「する」「みる」「ささえる」楽しみなど」と記載されており、この2行はニュースポーツというよりもスポーツの推進自体を明記しているやうにもとれます。その後「また」の以降の所でニュースポーツということが出ておりますので、ニュースポーツだからといって「する」「みる」「ささえる」じゃなく、スポーツ全体が「する」「みる」「ささえる」という、おそらくスポーツ基本計画の方でもなっておりますので、この2行については、ニュースポーツの推進ではなく、もう少し大きな所で書かれてもいいのかなと感じました。</p>
スポーツ推進課	<p>「する」「みる」「ささえる」はスポーツ全体のことです。この下にある指標のニュースポーツについては、こちらにも延べ参加者数について純粋なニュースポーツの参加者数ですが、上につきましては、スポーツの推進ということで、スポーツ全体を支えていくという意味合いでございます。</p>
中山市長	<p>今の上の2行については、ニュースポーツの所に入っていないなければならないということですか。再掲でもないですよ。この「する」「みる」「ささえる」という所は前にも出てましたか。</p>
教育総務課	<p>先ほどのニュースポーツにつきましては、上の2行は表現方法の全体に関することなので、修正したいと思ひます。ただ、ニュースポーツの推進は、戦略プランにも位置付けられているので、削除ではなく、記載内容を修正する方向で検討させていただきたいと思ひます。</p>
鈴木委員	<p>ニュースポーツを削除とかではなく、この2行の所がニュースポーツだけに限定されてしまうと、その前に「する」「みる」「ささえる」がないと、整合性がないということです。ニュースポーツ自体は削除しなくても結構です。</p>
中山市長	<p>はい、そうですね。上の2行の場所をよく考えてもらいたいということとニュースポーツについても、一行だけじゃ寂しいので、盛っていただければと</p>

齋藤教育長 職務代理者	<p>思いますので、よろしくお願いいたします。ほかにございますでしょうか。</p> <p>少し気になった言葉なのですが、49ページの「③健康に関する知識の普及」の部分で、1行目なのですが、体位測定や健康診断結果などを通じた生活指導の充実、この生活指導というのが私には違和感があります。我々、生活指導と生徒指導と結構強い認識を持つので、生活態度とか、行動を指導・助言するというような意味合いに取ってしまいます。ですので、言葉としてこの体位測定や健康診断と生活指導が少し結びつきにくいように感じます。生活習慣的なものなのか、生活そのものではないような気もするし、一部には違いないのですが、言葉上のちょっとニュアンスが気になった部分です。</p>
中山市長	はい、用語の問題だと思いますが、この点についてはどうでしょうか。
教育総務課	この点についても検討し、仮にもっと相応しい言葉があれば、変えるということにさせていただきます。
中山市長	<p>ほかにございますか。私からですが、数値目標の所についても、例えばその数値で何々の割合とかという所も注釈が必要なのかなと思いました。先ほどの高橋委員の注釈をもっと付け加えて欲しいということと、率の算定の仕方とか、そういうものも少し書き添えていただけるといいのかなと思います。</p> <p>あと、今見て気づいたのですが、最初の28ページの図にある樹形図の一番下の土台の部分の字がちょっと薄くて、小さいのかなと思いました。これももう少し読みやすく、太い字にしないと次の40ページがほとんど見えなくなってしまうし、少し薄めると何だかよく分からなくなってしまうといったことでもありますので、少しその点は工夫してもらえればと思います。ほかにありますか。</p>
一同	(特になしの声あり)
中山市長	<p>それでは御意見も出尽くしたようですので、次に移らせていただきます。</p> <p>これまで、龍ヶ崎市教育プランに関しましては、次回に序章、教育大綱、教育振興基本計画で構成されます龍ヶ崎市教育プランとしての案を御提示させていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、続いて議題2の方に移らせていただきます。龍ヶ崎市の新しい学校づくり審議会についてでございます。担当から説明をお願いいたします。</p>
教育総務課	(資料に基づき説明)
中山市長	はい、ただいま説明がございましたが、この内容について何か御意見、御質問等ございますでしょうか。今回は2回目ということでございますが、会議につきましては、今後も総合教育会議で随時報告をして参りたいと考えております。御意見、御質問ございますでしょうか。
大野委員	学校生活に関する調査ということで、ストレスの実態ということがあったかと思いますが、小学生に対してストレスという言葉がどういうものなのか、理解して答えているのかどうかというのを知りたいと思います。例えば、小学校何年生からアンケートを取っているのか。それと4年生の児童が、ストレスと感じたことありますかと聞いて、ストレスというのが、こういうことなんですよというのは、今の児童は理解できるのかどうかというのに対して、その下の

教育センター	<p>ストレスの実態となって、勉強がストレスの原因になっているかというのはいかがでしょうかというの少し知りたいなと思います。</p> <p>確かに子どもたちはストレスと聞いて、分かる子と分からない子がいると思いますが、実際の質問項目としては、例えばストレスもいくつかの種類がありますが、体がだるいですか、何となく心配ですか、いらいらしますかとか、小学校4年生から中学校3年生までが対象ですが、4年生でも、ある程度理解できるような言葉での質問・調査としてまとめると、ストレスという大きい括りになってしまうのですが、分かりやすい言葉での質問にはなっております。</p> <p>それと勉強というのもしっかり結果としては出てきています。</p> <p>勉強という括りも、一括りにしてやっているのですが、例えば授業中分からない問題を当てられた、授業がよく分からなかった、テストの点が思ったよりも悪かったとか、色々学習に関しての細かい質問項目、それをすべて合わせて勉強というストレスというように扱ってますので、ほかのストレスに比べると、やっぱり若干勉強に関して、それを子どもたちが負担と感じているとか、そういうのが高いというのが現状です。</p>
大野委員	<p>率直にストレスというよりは、そういうカテゴリーを集めたものがストレスという括りになっているということですね、分かりました。</p>
中山市長	<p>はい、ほかにございますでしょうか。今、大野委員から資料の点についてありましたので、資料、議事録も含めて、何かあればお願いいたします。</p>
平塚教育長	<p>新しい学校づくり審議会については、今度の審議会が3回目になります。これまでは龍ヶ崎の子どもたちの実態、現状、そういったもので問題点を探って、会長の樋口先生からは、特に龍ヶ崎の子どもたちに致命的な大きな課題は今の所ないだろうということでありました。ですので、新しい学校づくりを進めるには、非常に良いタイミングとのお話もいただいております。しかしながら、少し危惧しているのは、一般市民の方々の小中一貫教育に対する認識、イメージがついて、実際に市が取組む内容と違う場合など、誤差が生まれたとしたら、なかなか協力いただけないかなと思います。ですから、今後プロモーション的に市民の方々に学校を通しながら、このような小中一貫教育を進めていきたいということ、具体的に、分かりやすく伝えていくというのは大事なかなと思います。何年度に小中一貫教育が始まるかは分かりませんが、その時になったら、先ほどのようなことが予想されますので、そういった面については、この審議会でも時間をかけて検討していただければと思います。</p>
中山市長	<p>はい、今の御意見について何かございますか。特によろしいですか。</p> <p>私の感想ですが、教育市民会議の議題が小中一貫教育をテーマで開催をした所、驚くほど参加者が少なかったです。私は、逆にこういうストレートなテーマでやりますので、関心のある方がたくさん来るのではないかなと思っていたのですが、そういう意味で、まだまだ浸透してないのかなと思います。今言われたように、言葉としては聞いたことはあるが、内容についてはあまり理解していない。例えば、小中一貫校について誤解があったりするということもあり得ますので、今、平塚教育長や樋口会長さんの御意見にもありましたが、本末転倒になってはいけないという部分もございますので、子どもたちの教育のために何をすべきかというような視点から、小中一貫というものを説明していければいいのかなと思っています。ぜひ、今の平塚教育長の意見を重く受けとめて、進めていかなければならないと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>

	<p>す。ほかにございますでしょうか。</p> <p>この新しい学校づくり審議会につきましては、今後も随時、当会議で御報告して参りたいと思います。</p>
<p>荒井教育部長</p>	<p>今もありましたように、樋口会長の言葉にもありましたが、本末転倒にならないようにということです。何のためにやっているのか、後手に回ってしまわないようにということだと思っておりますが、小中一貫というものに対する市民への説明も含めて、この会議で審議されたものについては、今後も注目して参りたいと思いますので、よろしくお願いを申し上げます。</p>
<p>中山市長 一同</p>	<p>ほかによろしいでしょうか。</p> <p>(特になしの声あり)</p>
<p>中山市長</p>	<p>それでは、特にないようですので、本日用意された議題をすべて終了いたしました。事務局から何か連絡事項などはございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、それでは次回の会議予定について申し上げます。</p> <p>次回の予定でございますが、11月16日水曜日、午後1時半を予定しております。後ほど通知いたしますので、よろしくお願いをいたします。それでは、以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。</p>
<p>中山市長</p>	<p>皆様の慎重審議と議事進行の御協力に感謝を申し上げまして、私の議事進行のお役目を終わりとさせていただきたいと思っております。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>